

令和5年度“きぼっこ体験事業” 希望が丘夏休みわんぱくキャンプ 開催要項

1 趣旨

自然を楽しみながら学ぶ場を提供し、野外活動や自然体験活動の各種プログラムを通じて、子どもたちが自主性や協調性を身につけてもらう。また心身の健全な発達を促し、また環境負荷低減について少しでも理解と行動が今後できるよう工夫するため、びわ湖版SDGs「マザーレイクゴールズ(MLGs)」の枠組みの中で、できることを目標として定め、この期間中に、経験値をあげていく。

具体的には、県内小学4年生から6年生の子どもたちが、1日目のオリエンテーション、2泊3日の各種体験、他学年交流活動を通じて、自然や人とかがわかる喜びに気づくとともに、自他を思いやり、尊重する心を育み、それぞれが成長できる機会を提供する。

また、日常とかけ離れた環境に身を置き、生きるために必要なさまざまな生活体験や水やエネルギーに関わる環境負荷低減をテーマとした取り組みを通じて、持続可能な社会のためにひとりひとりができることについて学ぶ。

2 主催

公益財団法人滋賀県希望が丘文化公園

3 期日

令和5年(2023年)7月30日(日) 9時30分から16時30分まで(A班B班とも参加)

9時:受付開始/16時30分解散

A班: 8月6日(日) ~8月8日(火) 2泊3日 10時から最終日14時30分まで

B班: 8月11日(金祝)~8月13日(日) 2泊3日 10時から最終日14時30分まで

9時30分:受付開始/14時30分解散

4 場所

滋賀県希望が丘文化公園 野外活動センターを中心に公園内およびその周辺
(滋賀県蒲生郡竜王町薬師1178)

5 対象

滋賀県在住在学の小学4年生~小学6年生

6 定員

2班×40名 = 80名(申込多数の場合は抽選)

7 参加料

15,000円(教材、食費、保険料等含む)

8 内容および基本コンセプト

○食事は基本野外調理です。野外活動体験、自然体験活動では、その時の気象状況や参加者の体調管理に注意しながら計画実施します。テント泊について、夏の蒸し暑い時期ですが、雨が降るなど気温が低くなることあります。キャンプの基本ですが、暑さ寒さは、着衣で調整します。

○滋賀県が2021年7月1日、マザーレイクゴールズ推進委員会が掲げた「Mother Lake Goals 変えよう、あなたと私から」から事業プログラムを展開。具体的には13の項目から以下の4項目に絞る。

- | | | |
|-------------------|----------------|-------------|
| 3 「多様な生き物を守ろう」 | ・身近な自然を知る、学ぶ / | ・間伐等、森林保全活動 |
| 4 「水辺も湖底も美しく」 | ・ゴミ排出量の削減 / | ・マナーを守っての行動 |
| 5 「恵み豊かな水源の森を守ろう」 | ・里山の保全 | |
| 6 「地元も流域も学びの場に」 | ・自然体験プログラム | |

上記の項目を中心に、計画、実践を行う。

※参加者にはわかりやすく、できるだけ簡易に安心して取り組んでいただくよう、工夫する。

滋賀県のHP

<https://mlgs.shiga.jp/>

<https://mlgs.shiga.jp/mlgs/13goals>

このサイトを、保護者から子どもの目線でどんなことができるかなあ
キャンプを通じてやってみよう!とっていただければ、大丈夫です

9 申込方法

Eメールで、郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・性別・生年月日・学校名・学年(年齢)・電話番号・メールアドレスおよび参加の動機を明記のうえ申し込む。

10 募集期間

令和5年(2023年)6月16日(金)～6月30日(金)

11 問合せ・申込先

滋賀県希望が丘文化公園 野外活動課

〒520-2551 滋賀県蒲生郡竜王町薬師1178 滋賀県立希望が丘野外活動センター

TEL:077-586-1100 FAX:0748-58-0220

Eメール:e-yagai@kiboupark-shiga.or.jp

<詳細補足説明>

MLGs 13のゴール・・・<以下詳細>

2030年の琵琶湖と琵琶湖に根ざす暮らしに向けた13のゴール

マザーレイクゴールズ(Mother Lake Goals, MLGs)では、2030年の持続可能社会へ向け、琵琶湖を切り口として独自に13のゴールを設定しています。



Goal 3 | 多様な生き物を守ろう

生物多様性や生態系のバランスを取り戻す取組が拡大し、野生生物の生息状況が改善するとともに、自然の恵みを実感する人が増加する



Goal 4 | 水辺も湖底も美しく

川や湖にゴミがなく、砂浜や水生植物などが適切に維持・管理され、誰もが美しいと感じられる水辺景観が守られる



Goal 5 | 恵み豊かな水源の森を守ろう

水源涵養や生態系保全、木材生産、レクリエーションなどの多面的機能が持続的に発揮される森林づくりが進み、人々が地元の森林の恵みを持続的に享受する



Goal 6 | 森川里湖海のつながりを健全に

森から湖、海に至る水や物質のつながりが健全に保たれ、湖と川、内湖、田んぼなどを行き来する生き物が増加する